

平成 30 年 8 月 16 日

こんにちは 連絡係の稲垣です。終戦記念日。何でも調べてみると日本と他国で違いがある。日本のポツダム宣言の受諾は 8/14 であり、8/15 は玉音放送の日で休戦宣言の日とも取れる。米、ソ連は 9/2、中国は 9/3。それぞれ主観を置くところが違うことがわかる。うーん深い。

さて、各務原市からの情報を頂きました。ご確認のほどお願いします。よろしくご査収ください。

各務原市介護保険サービス事業者協議会 会長 稲垣 光晴 様

いつもお世話になっております。各務原市役所介護保険課の山村と申します。平成 30 年 7 月 19 日に開催しました「介護職員のメンタルヘルスセミナー」のアンケートでのご質問に対する回答が届きましたので、送付いたします。全会員事業所に周知のほどよろしくお願いいたします。

+++++

・シュガー社員への有効な言葉かけを、具体的に教えて欲しい。

「シュガー社員」は田北百樹子氏の書籍に出てくる、職業人としての自覚が不足しているように見受けられる若手を中心とした社員を刺した言葉です。その特徴を見ると、「確かに最近そういう若者が多い」ように感じられることがあるかもしれません。

しかし、ここで挙げられている特徴をよく見ると、世代間の価値観の違いからくると思われることも少なくなく（例えば仕事よりプライベートを優先する傾向、自分の権利を主張する傾向など）、一概に「問題」とは言えないのではないかと思います。それを前提に考えると、まずその「シュガー社員」に対応する側がどの程度その社員を理解しているか、目につく行動だけではなくその背景を含めて理解しようとしているかという事を検討する必要があるように思います。

その上で（さまざまな「シュガー社員」がいるという事を前提に）、ポイントを上げるとしたら適切な「承認」にあると考えられます。目についた（対応する側からすると一見「間違っただ」ような）行動に対して「叱責」することよりも、その社員ができていることに対する「承認」を心がけるという点でしょうか（できていないならほめる必要はありませんが、どうしたら承認されるかを示す必要があります）。その意味で使える言い回しとしては「〇〇できている

ね。それは〇〇（「以前に」など）比べれば〇〇（「前進している」など）だね。次は〇〇もできるようになるんじゃない」というになるでしょうか。

・日々の業務に加え、マネジャーとしての仕事もこなさなければならないので、時間をかけずに負担なく職員の相談役になるコツを知りたい。これは、もしそのような方法があれば本気で私も教えて頂きたいと思うポイントです。

というのは冗談としても、そのくらい「時間をかけず」「負担なく」「相談役になる」という事は難しいのではないかと考えています。

一方でよく上げられるご相談でもあります。その中から考えられることは、マネージャーとしての仕事の見直しと周囲への権限移譲ではないかと考えています。自分が行っている仕事に関して今一度見直し「（その時）職員の相談に乗ることよりも大切な仕事か」「ほかの時間、人に移すことはできないか」「やり方を変えることはできないか」などの視点から検討していただき、「時間をかけない」ことではなく「時間を作る」ことを考えて頂ければと思います。

+++++

各務原市健康福祉部介護保険課

施設指導係 山村 彩乃

〒504-8555 各務原市那加桜町 1-69

TEL 058-383-1111（内線：2544）

FAX 058-383-6365

E-mail yamamura-ayano@city.kakamigahara.lg.jp
